岡山連携中枢都市圏事業【ESD実践】



1975年10月24日、アイスランド全女性の90%が仕事も家事も一斉に「休んだ」
世界を変えた、知られざる運命の1日のドキュメンタリー

アイスランドでは、女性がみんなで休んで「おおきなかぶ」を抜いたらしい

映画上映会 女性の休日



2026年11月27日（金）

上映時間　16:00～　**参加費無料**
意見交換　17:15～

スペシャルゲスト
平川理恵さん（元広島県教育長）

会場：真庭市議会議場
真庭市役所本庁舎４階（真庭市久世2927番地2）

臨時駐車場
エスパスセンターをご利用ください

主催：真庭市　協力：真庭市議会・岡山ESD推進協議会

kyoseisyakaisuishin@city.maniwa.lg.jp
〈参加申込はこちらから

監督：パメラ・ホーガン　2024年 / アイスランド・アメリカ / アイスランド語・英語 / 原題：The Day Iceland Stood Still / 71分
後援：アイスランド大使館　提供・配給：kinologue　© 2024 Other Noises and Krumma Films.

『女性の休日』とは

ジェンダー平等先進国・北欧アイスランドが「はじまった」知られざる運命の1日

1975年10月24日、アイスランド全女性の90%が仕事や家事を一斉に休んだ、前代未聞のムーブメント「女性の休日」。国は機能不全となり、女性がいないと社会がまわらないことを証明した。

その後、アイスランドは最もジェンダー平等が進んだ国（2025年世界経済フォーラム発表・ジェンダーギャップ指数16年連続1位。日本は118位）となり、女性大統領と女性首相が国を治めている（2026年現在）。世界に衝撃を与えた、運命の1日を振り返るドキュメンタリーの自主上映会を開催します。



シスターフッド（女性たちの連帯）の柔らかな革命

「女性の休日」は、男女平等の実現という明確な目標のもと、みんなで「休む」ことで女性の存在意義を可視化し、ユーモアと柔らかさで参加しやすくした持続的社会運動モデル。

アクティビストだけでなく、普通の女性たちも連帯して踏み出した一歩は、誰もが生きやすい社会のために「いまを変えたい」人たちに、勇気とインスピレーションを与える。アイスランドの歌姫ビョークも「Incredible（素晴らしい）！」と称え、エンドロールに曲を提供した。



監督 パメラ・ホーガンのメッセージ

私たちの物語は、アイスランドの女性たちがどのようにして「女性の休日」を実現させたのかを探る旅です。（中略）

アイスランドは完璧ではありませんが、ジェンダー格差の90%以上を埋めた唯一の国であり、2030年までの完全な平等達成を誓っています。現在の傾向が続けば、世界が同じ水準に達するには131年かかるのです。

この知られざる物語が、次世代に可能性を想像させ、インスピレーションを与えることを願っています。



出典：『女性の休日』HP (https://kinologue.com/wdayoff/)

主催：真庭市
協力：真庭市議会・岡山ESD推進協議会

この事業は、岡山連携中枢都市圏事業として、真庭市が開催します。
問い合わせ
真庭市共生社会推進課　0867-42-1017 kyoseisyakaisuishin@city.maniwa.lg.jp

